

※報道発表資料に関する問い合わせ先

奈良国立博物館 学芸部 情報サービス室

Tel 0742-22-4463 Fax 0742-22-7221

平成 28 年 12 月 26 日

奈良国立博物館

## 報道発表資料

### 仏手（新薬師寺所蔵）の公開について

### なら仏像館 名品展「珠玉の仏たち」

奈良市高畑町・新薬師寺所蔵の、重要文化財 銅造薬師如来立像（香薬師<sup>こうやくし</sup>）は、飛鳥時代後期（白鳳期、7～8 世紀）彫刻を代表する名品として知られています。同像は、昭和 18 年（1943）に盗難に遭い、現在も行方不明です。その右手も長らく行方不明となっていました。近年、新薬師寺ならびに関係者の尽力により発見され、新薬師寺に返還されました。

当館では、新薬師寺からこの仏手の寄託を受け、なら仏像館の名品展「珠玉の仏たち」において、再発見後初めて一般公開いたします。

[1] 展示期間 平成 28 年 12 月 27 日（火）～

[2] 展示場所 なら仏像館 第5室

[3] 観覧料金 一般 520円（410円）

大学生 260円（210円）

※（ ）内は以下の料金です。

① 責任者の引率する 20 名以上の団体

② 子どもといっしょ割引 [子ども（中学生以下）と一緒に観覧される方]

③ レイト割引 [冬休み期間（12・1月）で、開館時間延長日の午後 5 時以降に観覧される方]

※ 高校生以下および 18 歳未満の方、満 70 歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方（介護者 1 名を含む）は無料です。

※ この観覧料金で、名品展「珠玉の仏教美術」（～3 月 14 日）、特別陳列「おん祭と春日信仰の美術」（～1 月 15 日）「お水取り」（2 月 7 日～3 月 14 日）もご覧いただけます。

ぶっしゆ  
仏手

奈良 新薬師寺

銅造 高 8.6cm

飛鳥時代 (7~8世紀)

「<sup>こうやくし</sup>香薬師」の名で知られる白鳳彫刻の名品、新薬師寺・銅造薬師如来立像（重要文化財）の右手首先と思われる。同像は明治 23 年（1890）、同 44 年（1911）、そして昭和 18 年（1943）の都合三度盗難に遭い、初度・第二度は破損を経ながらも寺に戻りえたが、三度目の盗難以降、その所在はわからない。この手先も行方不明となったが、新薬師寺ならびに関係者の尽力によって見いだされ、ここに公開の運びとなった。

爪先に向かって細まりつつ繊細な反りを示す指、金属とは思えないやわらかさを感じさせる<sup>たなごころ</sup>「掌」など、小品とはいえ、その造形は魅力に満ちている。全体から受ける印象にくわえ、手相や関節の表現にいたるまで、法隆寺・銅造観音菩薩立像（<sup>ゆめちがひ</sup>夢違観音／国宝）の右手に酷似し、両像が同じ作者の手になることを示している。

今回の公開が、像本体の再発見のための一助となることを願ってやまない。



仏手  
奈良・新薬師寺



重要文化財 銅造薬師如来立像（香薬師）  
奈良・新薬師寺（大正～昭和初期撮影）  
©飛鳥園